長洲町立長洲小学校　校長便り　No.１５１

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和６年１月２９日(月)

雑感

２０日は大寒だった。昨年と比較して暖かい冬かと思いきや、２３日火曜日から急に寒くなり、気温の変化に体がついていかず、春を待ち遠しく思う私である。

毎年この時期に思うことがある。時間の早さだ。今年は昨年にも増して、やたら早く時間が過ぎて行っているような気がする。歳をとるたびに時間の経過（感覚）が早くなっていくということだろう。

幼い頃、「俺は大人になるのだろうか。」と漠然と考えたことがある。あまりにも時間の流れが遅く感じていたからだ。それが今ではこの通りいい歳になった。６歳にとっての１年は人生の６分の１、５０歳にとっての１年は人生の５０分の１、感覚的な時間がどんどん短くなっていっているのだろうと思う。

平等に時間は与えられているが、どの様に使うかは個人によって違う。壮年期老年期の人はあっという間に過ぎる時間を大切に使う（人が多い）ものだ。青年期はそれに気付かず、時間を浪費することがある。そうなると、「こんなはずじゃなかった…」と後悔してしまう。どうだろうか？

６年生への卒業記念に毎年、色紙に文字をしたためたものを送っている。そのため、冬休みが明けて本校の６年生からの情報を集めるために、集団の様子を眺めているのだが、彼らはしっかり時間を大切にしているようだ。卒業までの時間は限られている。卒業に向けての取組はもとより、自分達が取り組んできたことを後輩（５年生）へ引き継いでいくプロジェクトも始動しているようだ。

６年生は毎日とても充実している様子だ。そういう意味で、「時間を大切に使う」ことを意識できるこの時期、我々大人も６年生に倣って、「時間を大切に使う」ことを意識して、年度末の活動を展開したいものだ。

業間雑感　～中学校とは～
「欲求制御力」を身に付ける

家庭でもよくある場面の話です。テレビをだらだら見ている、あるいはゲームをしている子供に、「勉強はしたつね？　はよせんね！」と言うと子供は「今しようと思ったのになぁ、あ～ぁ、やる気なくした…。」と屁理屈をこねる。保護者の皆様にもこのような経験がある方もいらっしゃると思います。

さて、冒頭「欲求制御力」とは、要するに「我慢すること」です。「時間を制御する能力」といってもいいでしょう。中学生になれば「ゲームしたいけど、今は我慢して勉強しよう。」というように、我慢が必要なときは自らの意志でしなければなりません。例えば、定期試験の数日前には部活動等も中断され、普段より早めに帰宅できるようになります。この時、「よし、やるぞ！」と考える子供と、「少しくらい、いいか。」とゲームをする子供とでは、成績に差がつくのは明白です。私の場合は後者に近かったので苦労しました。一夜漬けの知識は殆ど定着しません。小学生のうちに一日の時間の管理を任せたりすることは大変有効です。卒業までの時間を利用して、子供達に積極的な時間管理をさせてみるのもおもしろいですね。

６年生では、卒業までのカウントダウンも始まっている様子。残り少ない小学校生活の中で中学への準備をしておくと、中学生活への慣れもスムーズだと思います。チャレンジしてみては如何でしょう。

シリーズ「自分を語る」#１５１

天草市民センターは古くから住民に親しまれる、天草地域のスポーツ文化活動の拠点となるような施設です。エントランスホールが整備され、市民会館・武道館・体育館一体となった利用ができるようになっている施設です。

私はその中の市民会館のホールで発表させて頂くことになりました。長洲町でいう未来館のホールのような施設です。未来館でも多くの取組がなされているように、天草市民センターでもコンサート、講演会、市民の文化活動等が展開されています。

話がポンポンと飛んでしまって申し訳ありません。ここでの文化活動の一つに、市民のカラオケも含まれています。実は私の義母はカラオケが趣味で、天草市民センターで何度も歌っているという経験があります。妻の実家にはメジャーな演歌歌手と一緒に写った義母の写真が所狭しと飾ってあり、それが楽しみでもあるようです。つまり、義母にとっては聖地のような場所です。私の妻から当然のごとく「うちのお父さんが天草市民センターで何か発表するらしいよ。」という連絡が義母にも入っていました。ただ、この連絡だけでは義母にとっては「何のこっちゃ？」という具合で、発表？　何か歌うの？　うちの娘婿が？　どういうこと？　？マークで一杯だったようです。妻からも「コミュニティ・スクール」とか「学校運営協議会」だとか、何となくは説明をしたとのことでしたが、教育現場でしか通用しないような言葉で説明しても、内容を伝えるのは難しいですよね。

こんな感じで発表当日を迎えました。発表は午後の時間でしたが、移動、リハーサルやその他の準備等もあるので、１日がかりです。義母は私の発表の全体像をとらえることが出来ず当日もモヤモヤしていたようで、とうとう「現場で確認しよう！」という気持ちになり、まだ会場準備の段階であるにも拘らず、天草市民センターに偵察に出かけました。

義母は会場に到着すると「天草管内地域学校協働活動推進実践交流会」との文字を確認し、「まずい！私のカバーする範囲ではない！」と思ったのでしょう、そそくさと会場を後にしようとしました。しかし、そこにいた担当者（社会教育主事）に見つかってしまいます。準備中の長机や資料を覗き込んでいるのですからかなり怪しかったに違いありません。声を掛けられた義母は、真面目に自分の名前や、娘婿が発表するらしいということをすべて話したそうです。すると、あら不思議、担当の社会教育主事は妻の弟の事を知っており、「あ～、○○のお母さんでしたか！」と話に勢いがついたらしいのです。社会教育主事から「発表、聞いていきなさらんですか？」と声を掛けられたらしいのですが、それはさすがに断ったとか。当然ですよね、私の堅いお話より、カラオケ大好きの義母ですから。

本番前のハプニングに少し緊張もほぐれ、本番はリラックスして発表することができました。　（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　）